

I ヒアリ

【国内における確認状況】

- ・平成 29 年 7 月 3 日、新たに東京都の大井ふ頭で確認された。
- ・平成 29 年 6 月以降、兵庫県、愛知県、大阪府の港でも確認されている。

【生態：生息地など】

- ・公園や農耕地などやや開けた場所に営巣する。
- ・食性は雑食性で、節足動物、トカゲなどの小型脊椎動物、甘露、樹液、花蜜、種子など。
- ・極めて攻撃的で、節足動物のほか爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し、捕食することで知られる。

【形態：大きさや特徴】

- ・体長 2～6mm。
- ・主に赤茶色。
- ・体色は赤褐色、腹部が暗色。

【原産地】

- ・原産地は南アメリカ。



“ヒアリの働きアリ” By 環境省



“ヒアリ” By 環境省

健康被害の具体例

- ・刺されると、アルカロイド系の毒によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状^{すいほうじょう}に腫れる。
- ・毒に対するアレルギー反応（アナフィラキシーショック）を引き起こす場合があり、北米だけでも年間で 1500 件（本種を含めた“fire ant”全体の件数）近く起こっている。

被害を受けた場合の対処法

○刺された直後の対処

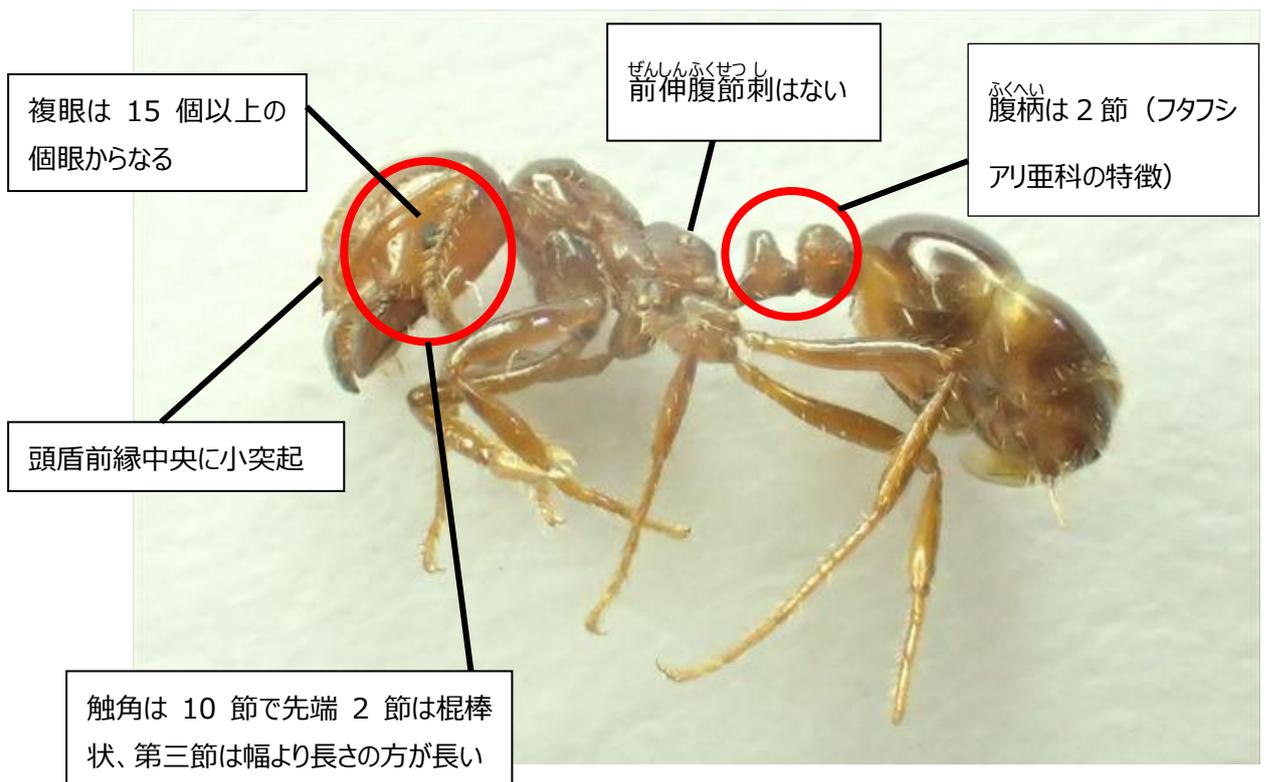
- ・20～30分程度、安静にし、体調の変化がないか注意
- ・症状が悪化しない場合には、ゆっくりと病院を受診

○症状が悪化する場合

- ・一番近い病院を受診する（救急受け入れのある病院が望ましい）
- ・「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーに可能性があること」を伝え、すぐに治療してもらう

特徴・間違えやすい類似種との識別点

【ヒアリの特徴】



- ・胸部の体色が赤褐色、腹部が暗色で艶がある。
- ・触覚節数は 10 節で第 3 節は長い。
- ・トフシアリ（日本産種は *Solenopsis japonica* はサイズが小さく識別可）、ヒメアリ属（兵アリの有無により識別可）。
- ・在来種で本種のような土で大きな塚を作る種はいない。

【類似種】



在来類似種例 アズマオオズアリ

【ヒアリの巣】



アリ塚

駆除方法

- ・殺虫剤（スプレーでも良いが、液剤が望ましい）を散布する。
- ・熱湯をかける。

ベイト剤（毒餌）の使用における留意点について

- ・ベイト剤（毒餌）の安易な使用は、ヒアリの定着等を阻害してくれる在来アリなども区別なく駆除することになり、かえってヒアリ等の定着につながる恐れがあります。
- ・ヒアリがこれまで発見されていない地域では、まずは誘引剤を含むトラップを設置し（誘引剤を使うと1日以内の設置でよい）、ヒアリが発見された場合にのみベイト剤を用いて防除することを推奨します。
- ・ベイト剤の使用にあたっては、事前に専門家に相談するなど、適切に使用してください。

被害の予防について

健康被害を防ぐため、日常生活においては以下のようなことにご注意ください。

<被害が起きやすい状況>

- ・農作業、庭の手入れや家庭菜園など屋外での作業。
- ・野外においてあるサンダル等の靴を履く。

<予防策>

- ・野外での作業時にはプラスチック製の手袋を着用する等、肌を露出しない。
- ・アリが体をのぼりにくくするために、ベビーパウダーを靴やズボンに振り掛けておく。
- ・サンダル等を外に置きっぱなしにしない。

<ヒアリやアカカミアリのようなアリを見つけたら>

- ・生きた個体を手で触らない。
- ・地元の自治体に連絡する。

 [危険な外来生物 Web サイトへ](#)

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379